

ふお一ちゅん (1989-2008) 総目次 (学会化以前)

—第 19 号から創刊号まで—

学会化後の最新号~20号までの目次については「欧米言語文化研究 Fortuna (2009-) 総目次」をご覧ください。尚、学会化以前の歴代編集委員は最終頁に記載されています。

ふお一ちゅん 第 19 号 (2008)

特別寄稿

文学への接近法—若き研究者に寄せるささやかな助言……………江野沢一嘉 3

[論 文]

イギリス文学

農耕詩としての『クーパーの丘』—風景と／の教訓……………植月恵一郎 5

『我らが共通の友』における騙しのテクニック……………水野 隆之 21

アメリカ文学

Imagery in Part One of Jean Toomer's *Cane*……………Naoki Kondo 33

[原典講読研究]

キャサリン・マンスフィールド「カナリア」を読む

—教室で読む英文学 (2)……………奥井 裕 43

カナリア……………キャサリン・マンスフィールド (奥井 裕訳) 68

「カナリア」について……………奥井 裕 73

[翻 訳]

コニングズビー (第 1 巻 第 4 章~第 7 章)

……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・閑田 朋子・大竹麻衣子訳) 79

あの女……………ローザ・ガイ (横山 孝一訳) 101

例会研究発表の記録 (2007 年)……………108

新生言語文化研究会会員 発表著書・論文等一覧……………111

編集後記……………113

表紙の言葉……………小林 英美 114

ふお一ちゅん 第 18 号 (2007)

特別寄稿

<i>Cors de Chasse</i>	秋葉 隆三	3
-----------------------------	-------	---

[論 文]

イギリス文学

エミリ・ブロンテの詩—死の絶望が生み出した想像世界—.....	山本由布子	5
『我らが共通の友』 —ブラッドリー・ヘッドストーンに見られる引き裂かれた自己—.....	吉田 一穂	15
『二都物語』における秘密と語り.....	水野 隆之	25

[原典講読研究]

カート・ヴォネガット「永遠への長い歩み」を読む —教室で読む英文学 (1).....	奥井 裕	37
永遠への長い歩み.....	カート・ヴォネガット (奥井 裕訳)	65
「永遠への長い歩み」について.....	奥井 裕	73

[翻 訳]

コニングズビー (第1巻 第1章~第3章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・関田 朋子・大竹麻衣子訳)	77
17歳の死.....	ジョン・ベリオ (横山 孝一訳)	99
ウッド夫人現わる.....	S・H・バートン (横山 孝一訳)	101
プルート.....	ポール・スチュアート (横山 孝一訳)	105
デトロイトへの期待.....	アート・バクウォルド (奥井 裕訳)	111
売るなら強気で.....	アート・バクウォルド (奥井 裕訳)	113

[エッセイ]

『くくしがるば』誕生秘話.....	遠藤 徹	117
例会研究発表の記録 (2006年).....		120
新生言語文化研究会会員 研究発表活動一覧 (2006年).....		123
編集後記.....		126
表紙の言葉.....	小林 英美	127

ふお一ちゅん 第17号 (2006)

特別寄稿

飢えて泣く子供の前で.....	滝沢 正彦	3
イギリス留学の思い出—ある日の授業ノート.....	広本 勝也	9

[論 文]

イギリス文学

- 『ボズのスケッチ』—Scenesの空間—……………藤井 晶宏 13
『ドンビー父子』の世界—断ち切れない関係—……………水野 隆之 23
自叙伝小説としての *The Professor*
—William Crimsworthの〈語り〉にみるリアリズム—……………新井 英夫 35
植民地解放の寓話としての『1984年』……………近藤 直樹 47

アメリカ文学

- “The Minister’s Black Veil” 一人間の「宿命」をめぐって……………熊田 岐子 57
“Wakefield” 環境の影響力とは……………廣瀬 真人 65
『大理石の牧神』にみる宗教衝突—ピューリタンとカトリックの対峙—……………富樫 壮央 75

〔翻 訳〕

- 結婚プレゼント……………ニール・ゲイマン (横山 孝一訳) 83
例会研究発表の記録 (2005年)……………94
編集後記……………100
表紙の言葉……………小林 英美 101

ふおーちゅん 第16号 (2005)

特別寄稿

- アイリス・マードックとエロス……………井内雄四郎 3
フットボールの醍醐味……………佐藤 義夫 5

〔論 文〕

イギリス文学

- 『リトル・ドリッド』における父と娘……………吉田 一穂 7
「対話」から読む『大いなる遺産』……………水野 隆之 19
マーガレット・ヘイルの腕
—エリザベス・ギヤスケル作『北と南』において—……………閑田 朋子 29
オーウェルのパリー『パリ・ロンドン放浪記』パリ篇について……………近藤 直樹 39

アメリカ文学

- 「ロジャー・マルヴィンの埋葬」—一つの見方—……………西山 里枝 49
“The Artist of the Beautiful”—現実に向かう芸術家—……………廣瀬 真人 63
ジプチカーメルヴィルの「新しい」手法……………奈良裕美子 73
McCullersの小説と劇をめぐって
—*The Member of the Wedding*における—考察……………廣田 純子 85

[書 評]

斉藤兆史氏の仕事……………水野 隆之 97

[翻 訳]

ガンジーについて思うこと……………ジョージ・オーウェル (奥井 裕訳) 101

ライ……………ジョイス・マイア (横山 孝一訳) 111

スペシャル・オリンピック大会……………ディナイエ・アダムズ (横山 孝一訳) 112

教養のある女性……………クリスティーン・E・ベレリス (横山 孝一訳) 114

年はとっても夢をもて……………ダン・クラーク (横山 孝一訳) 116

期末試験で A をとる方法……………トニー・ダンジェロ (横山 孝一訳) 118

例会研究発表の記録 (2004 年)……………122

編集後記……………129

表紙の言葉……………小林 英美 130

ふお一ちゅん 第 15 号 (2004)

特別寄稿

Antony and Cleopatra を読む……………関谷 武史 3

[論 文]

英語教育

大学英語教育の諸問題—教養英語復興のために—……………奥井 裕 15

イギリス文学

A Midsummer Night's Dream 試論—love in idleness とは—……………大住有里子 43

“I, poor monster” ?

—*Twelfth Night* における Viola の男装に関する一考察 (1) —……………堤 裕美子 55

Cymbeline はいかにして生まれたか?……………小山 誠子 67

Oliver Twist

—“fallen woman” の改心とキリストによる救済のヴィジョン—……………吉田 一穂 75

『ドンビー父子』—水と音の流動する世界—……………藤井 晶宏 87

A Pair of Blue Eyes における誤読の作用について……………杉本 宏昭 99

Howards End の曖昧な結末—その可能性について—……………杉本久美子 107

『1984年』における自然描写と政治観……………近藤 直樹 119

「そよ風にゆれるカーテン」における比喩表現によって描かれる真実……………加藤 良浩 131

Dialectic of the Past and the Present in French-Canadian and Japanese-British Writings

—Comparison of Anne Hébert and Kazuo Ishiguro……………Tomoko KOYAMA 143

アメリカ文学

ジャック・ロンドンの文学と「体験」の迫力 —『地球的作家ジャック・ロンドンを読み解く』を通して—	横山 孝一	155
---	-------	-----

[書 評]

本名信行『世界の英語を歩く』(集英社新書、2003年11月)	大西 章夫	163
遠藤徹『姉飼』(角川書店、2003年11月)	横山 孝一	167

[翻 訳]

男を殺すということ	ジャック・ロンドン (横山 孝一訳)	175
-----------	--------------------	-----

[エッセイ]

第10回日本ホラー小説大賞を受賞して	遠藤 徹	187
例会研究発表の記録		190
編集後記		196
表紙の言葉	小林 英美	197

ふおーちゅん 第14号(2003)

特別寄稿

エミール・ホワイトの思い出	本田 康典	3
談論風発のトポスの夢	圓月 勝博	6

[論 文]

イギリス文学

<i>The Winter's Tale</i> に見る家父長制への不安—Oracleを中心に—	小山 誠子	9
子は西の海に沈む—転機としての『リシダス』	大西 章夫	21
<i>The Haunted Man</i> —クリスマスの本におけるレドローの内的覚醒の意味—	吉田 一穂	35
<i>Eliza Cook's Journal</i> における階級と労働者と女性(I)	閑田 朋子	45
『恋する女たち』におけるグドランの視覚的想像力	田中 はるな	55
オーウェルとディラン・トマス	大石健太郎	65
肉体の存在感—『カタロニア讃歌』試論—	近藤 直樹	71

アメリカ文学

信頼できない語りのもたらす効果 —『響きと怒り』におけるジェイソン・コンプソンの人物像—	加藤 良浩	79
---	-------	----

[翻 訳]

ジョン・B……………	マイケル・ノーマン (横山 孝一訳)	89
行商人の復讐……………	マイケル・ノーマン (横山 孝一訳)	90
這う女……………	ベス・スコット (横山 孝一訳)	92
例会研究発表の記録……………		96
編集後記……………		103
表紙の言葉……………	小林 英美	104

ふおーちゅん 第13号 (2002)

特別寄稿

ワーズワス・風景・言文一致……………	桑子 利男	3
英文学をどう書き換えるか?……………	田口 哲也	6

[論 文]

英語教育

大学に於ける教養英語の意義……………	奥井 裕	9
--------------------	------	---

イギリス文学

<i>Nicholas Nickleby</i> における演劇の意味……………	吉田 一穂	53
<i>Scenes of Clerical Life</i> における時代設定・時間設定……………	閑田 朋子	61
フレディ・マリNZとは何者か—『死者たち』に見る弱者の視点—……………	木ノ内敏久	69

アメリカ文学

「憑かれた心」を読む—ホーソン作品における時間と空間の考察—……………	堀切 大史	77
作家 Flannery O'Connor と二つのアイデンティティ		
— <i>Wise Blood</i> にみる南部とカトリック—……………	中村 文紀	87
『ライ麦畑の迷路を抜けて』にみる J・D・サリンジャー		
—ウーナの面影を追いつづける隠遁作家—……………	横山 孝一	99

[書 評]

鈴木孝夫『英語はいらない! ?』……………	大西 章夫	105
-----------------------	-------	-----

[翻 訳]

月を動かす……………	セアラ・ジョーダン (横山 孝一訳)	111
思い出のつまった瓶……………	メアリー・ロウ・ヴァード (横山 孝一訳)	113
待雪草……………	セアラ・マッキャン (横山 孝一訳)	115

[エッセイ]

ニューヨーク同時多発テロ遭遇記……………	山内 圭	117
----------------------	------	-----

例会研究発表の記録	126
編集後記	133
表紙の言葉	小林 英美 134

ふおーちゅん 第12号(2001)

特別寄稿

アメリカ文学研究と自分で小説を書くこと—精神風土とぼくの文学—	濱野 成生 3
「教訓」について	笠原 順路 6

[論 文]

イギリス文学

『荒涼館』での大法院の描写を巡って	水野 隆之 9
How Historians Have Used Social Problem Novels as Primary Sources	Tomoko Kanda 23
D.H. Lawrence, “Second Best” 試論	
—ロレンス初期の短編小説に見られる「再生」の意味—	井上 径子 35

アメリカ文学

オーストラリア原住民、アボリジニの苦難	
—問題作 <i>Mutant Message Down Under</i> を読む—	横田由起子 45

[書 評]

船橋洋一『あえて英語公用語論』	大西 章夫 59
-----------------	----------

[翻 訳]

明かりはつけるな	アラン・メイリー (横山 孝一訳) 67
雪の赤ちゃん	テリー・ジョーンズ (横山 孝一訳) 71
プリシラといくじなし	リチャード・ペック (横山 孝一訳) 74

例会口頭研究発表要旨	78
編集後記	84

表紙 : Radcliffe Camera:

Oxford 大学図書館 Bodleian Library の一部

ふおーちゅん 第10・11号(2000)

「ふおーちゅん」の21世紀一十周年に寄せて……………会長・植月恵一郎 1

特別寄稿

文学研究をふり返ってみると……………野中 涼 5
Brendan Kennelly and P. B. Shelley in Dublin……………水之江有一 7

[論 文]

イギリス文学

開かれた自然と閉じられた自然
—17世紀イギリス詩における自然の変化—……………茅原 道昭 9
Mary Barton: the Truthful Novel Possessed by Mammon……………Tomoko Kanda 19
“[the] second edition” revised—『嵐が丘』第二世代の物語をめぐって—……………田村 裕二 33
途上の『二都物語』……………藤井 晶宏 41

アメリカ文学

イエジー・コジンスキーの『異端の鳥』
—テキストが内包する様々な差異について—……………新宅 美樹 53

[書 評]

見市雅俊『ロンドン=炎が生んだ世界都市』(講談社、1999年)……………大西 章夫 65
M.H.ニコルソン『円環の破壊』小黒和子訳(みすず書房、1999年)……………植月恵一郎 69

[翻 訳]

ブルーベルと紅葉……………アラン・メイリー(横山 孝一訳) 75
ラッキー・ルーク……………ポール・スチュアート(横山 孝一訳) 77
カタツムリ観察者……………パトリシア・ハイスミス(横山 孝一訳) 81

『ふおーちゅん』創刊号～前号総目次(1989-97.専門別時代順)……………88
例会口頭研究発表要旨……………94
編集後記……………104

表紙：本誌命名の由来、坪内逍遙博士記念演劇博物館(早稲田大学構内)

* Shakespeare時代の劇場 *The Fortune* を模して昭和3年完成。

ふおーちゅん 第9号(1997)

特別寄稿

無 題……………鈴木 建三 3
庭園と荒野……………辻 裕子 5
〈ハヌカーの祭り〉……………西山 清 7

[論 文]

イギリス文学

- アンドルー・マーヴェルの『嵐』—「バーミューダ諸島」について—……………植月 恵一郎 9
ジョージ・ハーバートにおける罪と不安
—‘One cunning bosome-sinne’の一考察—……………石黒 恭代 19
『失樂園』において善に対する調和をもたらす役割の逆転と回復……………江藤あさじ 45
Blake: ‘Gwin, King of Norway’—若き詩人の描いた流血—……………斉藤 貴子 59
‘Sleep and Poetry’ と ‘I Stood Tip-toe…’ に描かれる主題の探求……………岩大路賀子 71
『若き日の芸術家の肖像』におけるナショナルな情念の限界
—祖国・人種・階級を巡って—……………木ノ内敏久 87

アメリカ文学

- ポルターガイストという素材—映画と『ピラヴィド』—……………横山 孝一 97

比較文化

- 文学の中の〈衛生〉空間……………横田由起子 107

[書 評]

Steiger, Brad and Sherry Hansen Steiger, *Mother Mary Speaks to Us*.

- New York: Signet, 1997.……………横山 孝一 127

[エッセイ]

『失樂園』の出産—Milton's Cottageの再発見—……………大西 章夫 129

THE END OF EVANGELION—母なるものと作者—……………横山 孝一 133

例会口頭研究発表要旨……………144

編集後記……………150

表紙: レオノーラ・キャリントン 《白イタチ・レース》

ふおーちゅん 第8号(1996)

特別寄稿

エクセントリックとは……………松島 正一 3

ロゴスとミメシス……………剣持 武彦 5

[論 文]

イギリス文学

Herbertにおけるエロスとアガペー—愛の双方向性について—……………石黒 恭代 7

『エンディミオン』第一巻の構造分析—支配的イメージ群析出の試み—……………小林 正弘 21

代理的自己実現の手段としての「物語」

—『フランケンシュタイン』をめぐる一考察—	遠藤 徹	41
『亡命者たち』試論—リチャードの疑惑—	木ノ内敏久	51
『恋する女たち』研究—ジェラルドの悲劇—	池田 史彦	61

アメリカ文化

ファンダメンタリズムとは何か—アメリカ文化とハルマゲドン—	横山 孝一	71
西村匠史さんを悼む	小松 良江	79
例会口頭研究発表要旨		82
編集後記		88

表紙：マックス・エルンスト『百頭女』

ふおーちゅん 第7号(1995)

特別寄稿

「冒険」としての批評	佐伯 彰一	3
文学作品と向かい合う—『蠅の王』によせて—	東郷 秀光	7

[論 文]

応用言語学

Evaluating the Cognitive Code-Learning Theory	Kenji TANI	11
---	------------	----

イギリス文学

擬人法の変容～キーツの擬人法をめぐる～	加賀 岳彦	19
“Sleep and Poetry”における睡眠と覚醒	藤原 雅子	31
『嵐が丘』—キャサリンとヒースクリフの子供時代と人格形成—	小松 良江	39
チャールズ・ディケンズの『ホリデイ・ロマンス四部作』 (<i>Holiday Romance in Four Parts</i>) 第二部を読む	杉本 一郎	49
『土曜の夜と日曜の朝』研究—アーサー・シートンについての一考察—	横田由起子	59

アメリカ文学

The Narrators in <i>Absalom, Absalom!</i>	Tomoko MURAKAMI	69
---	-----------------	----

[エッセイ]

さくら・サクラ・桜	横田 肇	79
《笑う》ゼリー、あるいはゼリー主義宣言	遠藤 徹	81

編集後記		96
------	--	----

表紙：ジャン＝フランソワ・ミレー 《糸紡ぎ、立像》

ふぉーちゅん 第6号(1994)

特別寄稿

- 気負い込んだアメリカ留学……………井上 時男 1
八月の光の中で……………柳井 幸雄 3

[論 文]

英語科教育法

- Rhetorical Patterns in Student Skits :
Cross-Cultural Differences……………Rika HANAMITSU 7
英語スピーチの授業を振り返って……………小松 良江 23

英 語 学

- The Impact of Chomsky's Work on Thought about Language Teaching
……………Kenji TANI 33

イギリス文学

- 'This is no part of thy play' —道徳劇あるいは世俗劇としての『人類』—……………加藤 誠 45
不動点としてのジェルサレム……………遠藤 徹 57
キーツの詩法：ソネットからオードへ キーツの詩形式の変遷の一考察……………加賀 岳彦 69
「おれ」と「やつら」の戦争—「長距離走者の孤独」論……………横田由起子 83

アメリカ文学

- ハーンの「一目惚れ」の思想—「お貞の話」をめぐって—……………小倉 慶郎 95
80年代ミニマリズム—アン・ビーティエの世界—……………宍戸絵里香 107

- 編集後記……………120

表紙：シジスモンド・ファンティ 《『^{フォーチュン}運命の勝利』の扉絵》

ふぉーちゅん 第5号(1993)

ポレミックなあいさつ

- 会名改称、『ふぉーちゅん』創刊五周年に寄せて—……………会長・植月恵一郎 1

特別寄稿

- 「黒い森」とローマン主義……………新井 明 2
ウルトラマンにおけるアントロポセントリズム……………佐藤 治夫 4

[論 文]

イギリス文学

'Three mile out of hell'

—『軽蔑屋ヒック』における擬似的悪徳と真の悪徳—……………加藤 誠 6

Growth of a Poet's Mind and Consistency in Watery Scenes in "Spots of Time"

……………Hidemi KOBAYASHI 23

Oliver Twist (1838) について……………杉本 一郎 40

アメリカ文学

"William Wilson" の同級生の正体について……………竹内 一郎 47

Milton で解く *The House of the Seven Gables* ……………小松 良江 55

ラフカディオ・ハーンの日本理解

—明治期来日外国人の日本人観を比較して—……………小倉 慶郎 66

言語の発芽—Henry Miller と自動筆記法—……………松田憲次郎 76

[エッセイ]

「目の不自由な」琵琶法師……………大西 章夫 90

大学改革と自己改革……………横田 肇 92

編集後記……………96

表紙：マイケル・ファレル「^{フォーチュン}幸運の車輪」(1964)

ふお一ちゅん 第4号(1992)

特別寄稿

言葉の非力……………三浦 修 2

出 会 い……………品田 一良 4

[論 文]

イギリス文学

'I will make merry whiles I may'

—『青春の幕間劇』における善と悪、聖と俗、現世と来世—……………加藤 誠 6

『マクベス』における樹木のイメージ……………越智 敏之 25

自然と人為の調和と葛藤—庭として見たミルトンの楽園像—……………大西 章夫 37

夕暮れの子供たちと「私」

—明暗の心象と「大人」と「子供」の観念の断絶をめぐる—……………小林 英美 54

ロマンスからリアリティへ キーツの『秋に寄せる』を巡って……………加賀 岳彦 59

都市と人間 チャールズ・ディケンズ *Nicholas Nickleby* 試論……………杉本 一郎 74

"The Road from Colonus" 研究—E.M. Forster とギリシャ—……………内山 知子 86

ジョージ・オーウェル序論—オーウェルの社会主義の出発点—	奥井 裕	95
『権力と栄光』—ウィスキー神父の列聖の可能性についての—考察—	秋本 和子	110

[翻 訳]

H. エリス『性心理学』(2)—ウォルト・ホイットマン—	横田 肇・編訳	118
------------------------------	---------	-----

[エッセイ]

ことばをめぐる断章 (2)	横田 肇	124
---------------	------	-----

編集後記		128
------	--	-----

表紙：アルブレヒト・デューラー 《メレンコリア I》

ふおーちゅん 第3号 (1991)

特別寄稿

平井正穂氏の『イギリス名詩選』を読む	出口 保夫	2
ふおーちゅんのこと	三宅 鴻	4

[論 文]

イギリス文学

‘*And they be small*’

— <i>Everyman</i> のプロローグとエピローグの特徴について—	加藤 誠	7
ミルトンの楽園像をめぐる—考察—ダンテの「地上楽園」像と比較して—	大西 章夫	25
<i>Lyrical Ballads</i> における母子の心象		
—“Mad Mother”の心象の構成要素についての—考察—	小林 英美	40
Victorianism の批判者 R. L. Stevenson	竹内 一郎	52

アメリカ文学

『ヒュー・セルウィン・モーバリー』の構造—前半VIIの詩を中心に—	萩原 輝	59
The Contingent or Involuntary Allegory : an Aspect of Automatic Writing in Henry Miller	Kenjiro MATSUDA	68

[翻 訳]

Jerome Weidman 「父は暗闇に座る」	神山 高行・訳	88
ハヴェロック・エリス『性心理学』(1)		
—「イギリス史における同性愛」—	横田 肇・編訳	93

[エッセイ]

ことばをめぐる断章	横田 肇	108
-----------	------	-----

編集後記	111
表紙：セバスチャン・ブラント『患者の船』初版本（1494）挿絵より、〈運命 ^{フォーチュン} の車輪〉と驢馬	

ふお一ちゅん 第2号（1990）

ごあいさつ	植月 惠一郎	1
特別寄稿		
《断想》古稀を迎えて	日高 八郎	2
外国語と自己主張	井内雄四郎	5

[論 文]

英 文 学

<i>Everyman</i> 上演における ‘doubling’ について	加藤 誠	7
<i>Everyman</i> 劇における愚行の喜劇的効果	越智 敏之	21
『ハムレット』小考—To be or not to be の解釈を巡って—	神山 高行	30
ミルトンの楽園描写の原形に関する一考察		
—聖書の ‘gan’ と ‘pardēs’ の ‘παράδεισος’ への融合をめぐって—	大西 章夫	35
文学用語としての想像力と空想力	笹川 浩	43

米 文 学

The Style of Lafcadio Hearn	Yoshiro OGURA	47
短編集 <i>The Burning House</i> (1982) 概観		
—Ann Beattie の虚無感と動的エネルギー—	宍戸絵里香	56

[エッセイ]

中国文学者への注文	横田 肇	62
-----------	------	----

編集後記	65
------	----

表紙：Book of Common Prayer. His Majesty's Printers, London, 1662.

(版下提供：出口保夫・早大教育学部教授)

ふお一ちゅん 創刊号（1989）

発刊の辞	宮崎 洋	1
------	------	---

特別寄稿

読むこと	野中 涼	2
英文学研究雑感	出口 保夫	4

苦情と拍手	松坂ヒロシ	6
-------	-------	---

[論 文]

英 語 学

音韻変化概説 I	宮崎 洋	7
----------	------	---

英 文 学

『ハムレット』第一・四つ折本テキストの可能性

—第四独白の例をもとに—	加藤 誠	11
--------------	------	----

『難題』—その形式と本質—	越智 敏之	21
---------------	-------	----

ミルトンの楽園描写の原形をめぐる一考察

—クセノポンの『アナバシス』の楽園描写と比較して—	大西 章夫	37
---------------------------	-------	----

[翻 訳]

W. B. イェイツ・作 『モサダ』	横田 肇・訳	45
--------------------	--------	----

[エッセイ]

学問の中立性	横田 肇	57
--------	------	----

編集後記		59
------	--	----

表紙：早稲田大学・坪内逍遥博士記念演劇博物館

歴代編集委員（学会化以前）

創刊号

編集代表 大西章夫

編集委員 奥井 裕、越智敏之、宮崎 洋

第2号

編集代表 笹川 浩

編集委員 奥井 裕、越智敏之、篠原俊吾

第3号

編集代表 飯塚 聡

編集委員 神山高行、小林英美、森田信也

第4号

編集代表 加藤 誠

編集委員 加賀岳彦、神山高行、小林英美

第5号

編集代表 横田 肇

編集委員 加賀岳彦、杉本一郎、長谷部龍文

第6号

編集代表 宍戸絵里香

編集委員 小松良江、竹内一郎、村上知子、横田由起子、横山孝一

第7号

編集代表 小松良江

編集委員 遠藤 徹、小泉裕二、谷 憲治、横田由起子、横山孝一

第8号

編集代表 遠藤 徹

編集委員 小泉裕二、谷 憲治、横田由起子、横山孝一

第9号～第11号

編集代表 横山孝一

編集委員 池田史彦、小泉裕二、小林正弘、田村裕二、谷 憲治

第12号・第13号

編集代表 横山孝一

編集委員 小林正弘、新宅美樹、田村裕二、水野隆之

第14号・第15号

編集代表 横山孝一

編集委員 小林正弘、新宅美樹、田村裕二

第16号～第19号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 小林正弘、近藤直樹、中村文紀